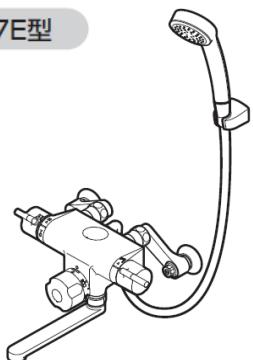


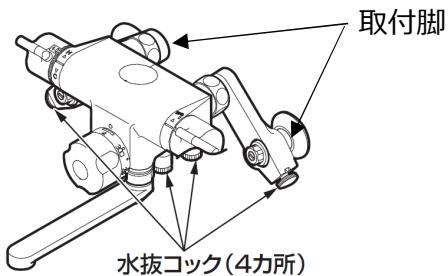
シンラ HK/WKシリーズ Cタイプ 定量止水式サーモスタット混合水栓(寒冷地用) シャワーがあるタイプ

寒冷地用水栓は、取付脚に水抜コックがあります

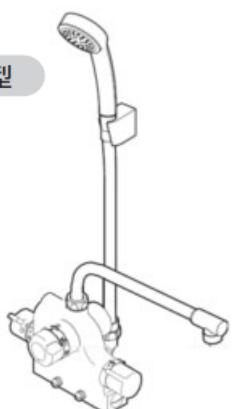
TMF47E型



定量止水式サーモスタット水栓

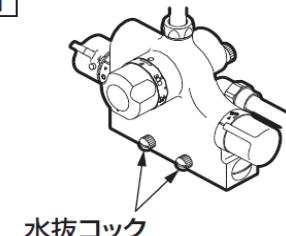


TMJ48E型

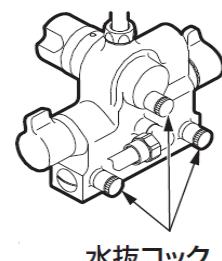


定量止水式サーモスタット水栓

前側



後側



凍結予防方法

P 2、3

通水再開方法

P 4

水抜きを行っても 通水再開後、水が出ない場合の対応方法

P4

通水再開後に流量が変わった場合の対応方法

P5

万一 凍結した場合の対応方法

P 6

凍結後、温度がずれている場合の調整方法

P6、7

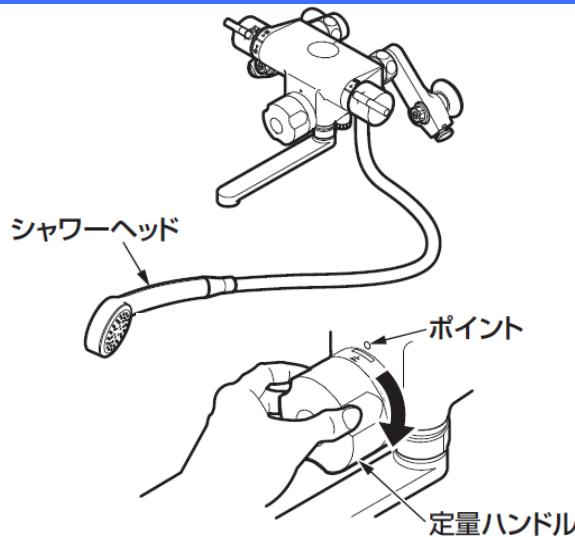
凍結予防方法

1. 水栓の水抜きをする前に

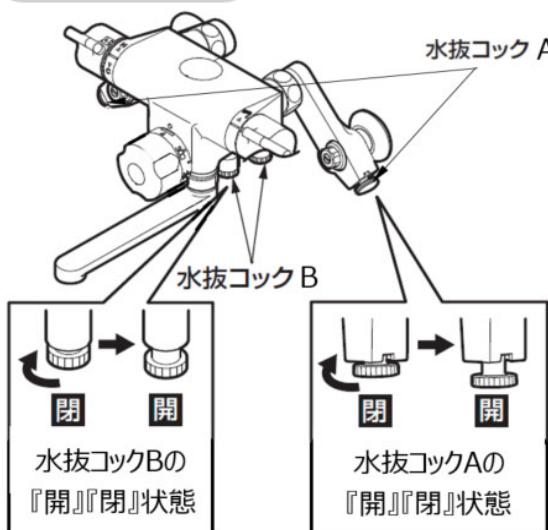
配管内の水を抜いてください。

配管内の水を抜いていない場合、水栓内の水が十分に抜けず、凍結のおそれがあります。

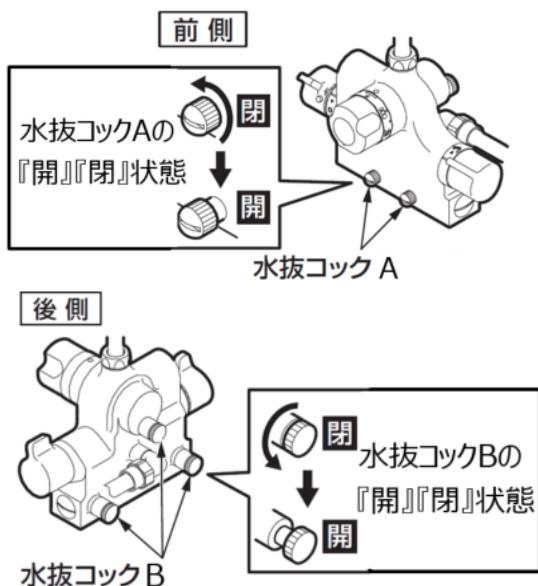
2. 水栓の水抜き方法



TMF47E型



TMJ48E型



4 水抜コックをすべて開ける。

空気を取り入れ、水を抜けやすくします。

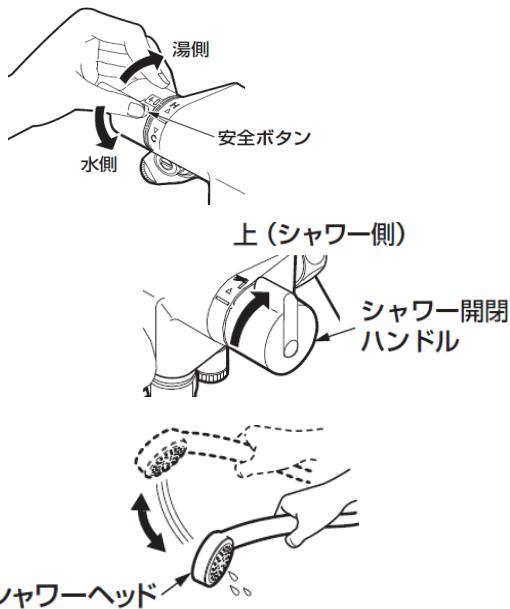
TMF47E型の場合

取付脚部の 水抜コックA 2カ所

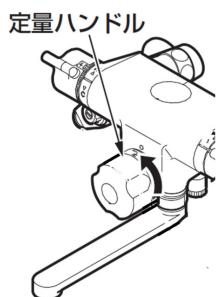
TMJ48E型の場合

本体前側の 水抜コックA 2カ所

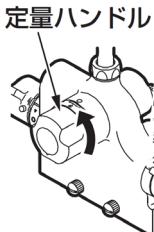
本体後側の 水抜コックB 3カ所



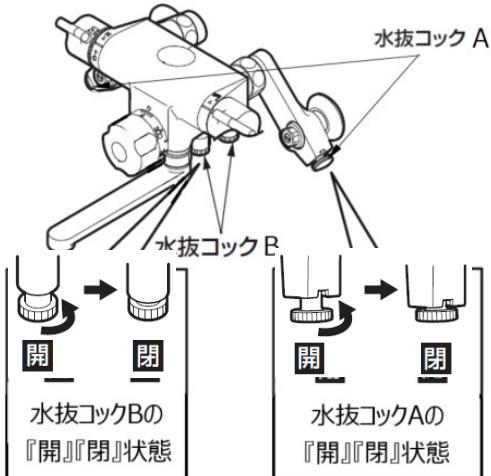
TMF47E型



TMJ48E型



TMF47E型



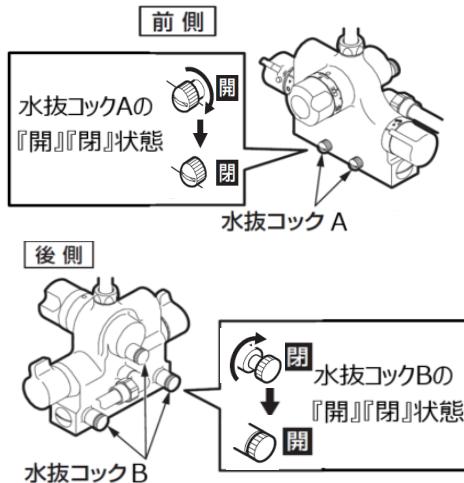
取付脚部の 水抜コックA 2カ所

本体部の 水抜コックB 2カ所

- 5 安全ボタンを押したまま、温度調節ハンドルを湯側⇨水側と複数回切り替え、スパウトから水を抜く。確実に水を抜くため。
- 6 スパウトから水が出なくなったら、シャワー開閉ハンドルをシャワー側いっぱいに回して、ホース内の水を抜く。
- 7 シャワーヘッドは下向きにし、よく振って中の水を抜いてから床に置く。
- 8 確実に水が抜けたことを確認する。
※水抜きが不十分な場合、凍結破損のおそれがあります。
- 9 定量ハンドルを戻す。

- 10 水抜コックを閉める。

TMJ48E型



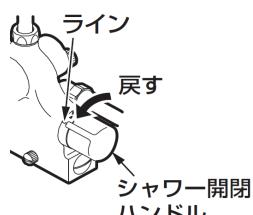
本体前側の 水抜コックA 2カ所

本体後側の 水抜コックB 3カ所

TMF47E型



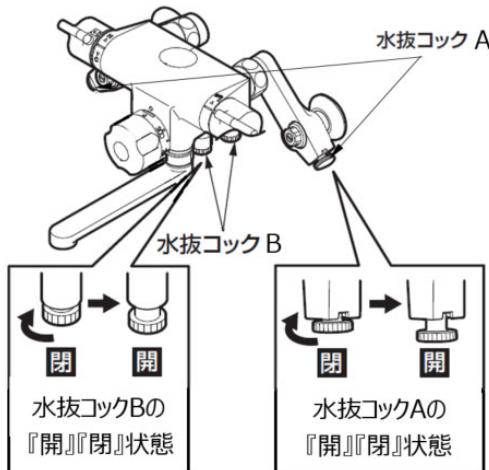
TMJ48E型



- 11 シャワー開閉ハンドルをラインの位置(水が出ない状態)に戻す。
⇒水抜き完了

通水再開方法

TMF47E型



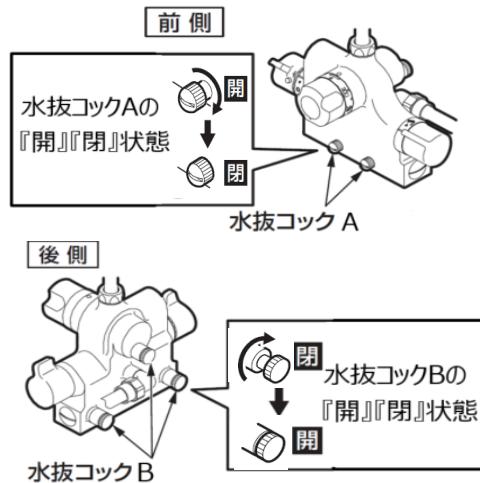
1

すべての水抜コックが閉まっていることを確認する。

TMF47E型

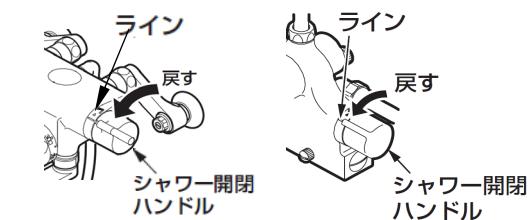
取付脚部の 水抜コックA 2カ所

TMJ48E型

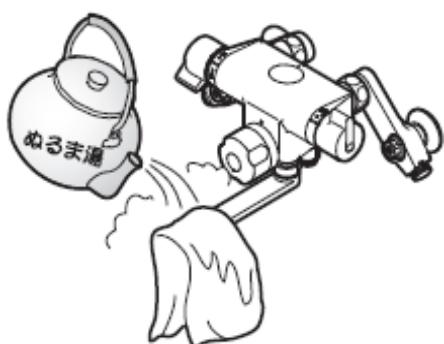


2

切替(開閉)ハンドルが止めの位置まで戻っていることを確認し、通水を再開する。



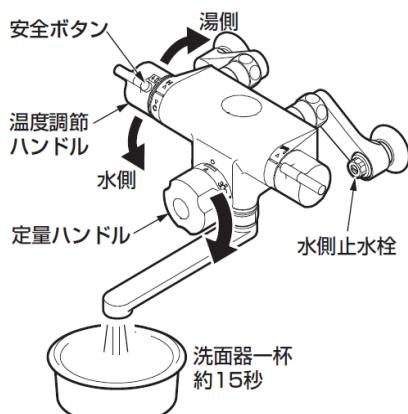
水抜きを行っても通水再開後、水が出ない場合の対応方法



水抜きを行っても吐水口の網目や
フィルターに付着した水滴が凍り、
通水後も少しの間、水が出ない場合があります。

そのときはタオルなどの布を巻き付け、
しみこませるようにゆっくりとぬるま湯をかけてください。

TMF47E型

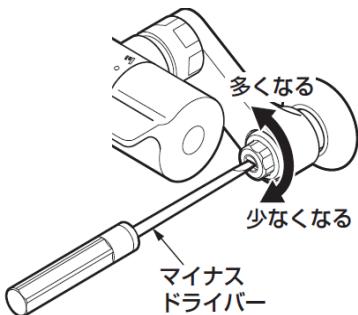


- ① 温度調節ハンドルを下(水側)いっぱいに回し、
切替ハンドルをスパウト側いっぱいに回す。
スパウトから水が出ます。
- ② 流量が15L/分程度(洗面器一杯にするのに
約15秒弱)になるように水側止水栓で調節する。
時計回りに回すと流量が少くなり、反時計回りに
回すと多くなります。

⚠ **湯側の流量調節をするときはやけどに十分に注意してください。**

- ③ 安全ボタンを押しながら温度調節ハンドルを
上(湯側)いっぱいに回し、
- ② と同じように湯側止水栓で流量を調節する。

※流量を極端に絞らないでください。あまり極端に絞ると流量の感
知精度が悪くなったり自動止水しないことがあります。
目盛り150(約150L)のとき、少なくとも30分以内で水が止まる程
度の流量でご使用ください。

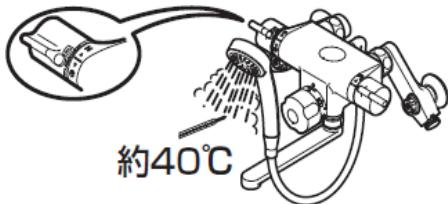


万一 凍結した場合の対応方法



凍結すると、設定温度がずれて、やけどのおそれがあります。

準備するもの：温度計

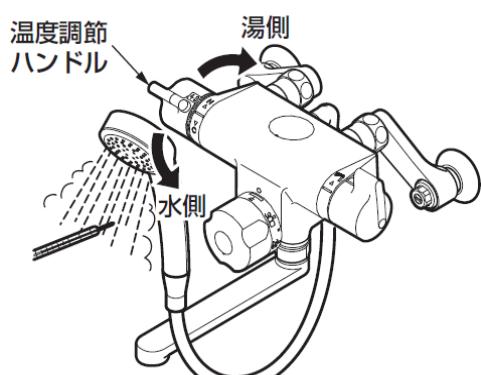
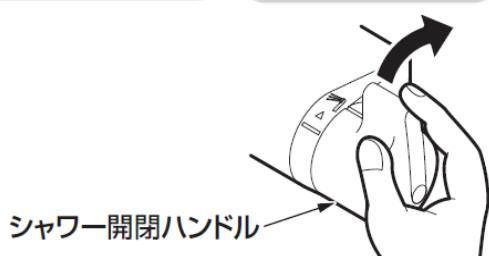


万一、凍結した場合は、
通水再開後のシャワー吐水時に温度調節ハンドルの
目盛り "40" と吐水温度があつてはいるか確認してください。

温度がずれている場合の調整方法

TMF47E型

TMJ48E型



TMF47E型の場合

準備するもの：温度計、精密ドライバー

- 1 シャワー開閉ハンドルを上いっぱいに回す。
シャワーから水が出ます。

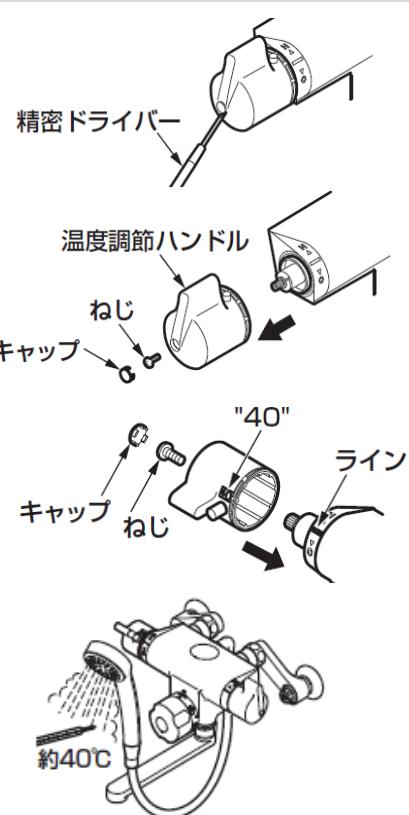
- 2 温度調節ハンドルを目盛りに関係なく
適温（約40°C）の湯が出る位置まで回す。
温度調節ハンドルは目盛り"40"を超えた付近で
ロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、
安全ボタンを押しながら回してください。

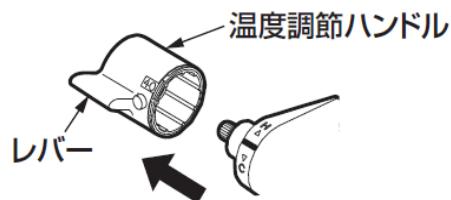
- 3 溫調ハンドルのキャップを
精密ドライバーなど 先の細いものを使用しめつき表面を
傷つけないように注意しながら外す。

- 4 次に 小ねじを外して
温度調節ハンドルが回らないように注意して
ハンドルを抜き取る。
ハンドルの取り扱いには十分に注意してください。
落下させるとけがをしたり、ハンドルが変形するおそれがあります。

- 5 目盛り"40"の文字とラインをあわせて、
温度調節ハンドルをはめ込む。
小ねじで固定してキャップを取り付ける。

- 6 固定後に適温(約40°C)の湯が出ているか確認する。

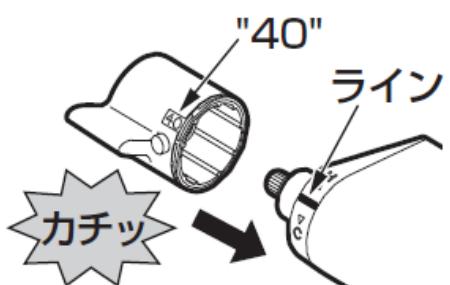




③

温度調節ハンドルが回らないように注意して
ハンドルを抜き取る。

※ハンドルははめ込み式のため、強く引くと抜けます。
抜けない場合は、傷がつかないように
レバー部を軽くたたいてください。



④

目盛り"40"の文字とラインをあわせて
温度調節ハンドルを「カチッ」と音がするまで押し込む。

⑤

適温(約40°C)の湯が出ているか確認する。